

# 令和7年度 玉津中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

### 2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

## 3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

## 4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

# 令和7年度 玉津中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

| 学年<br>実施月日 |     | 生徒数<br>(人) | 平均正答率(%) |      | 平均無解答率(%) |      | 平均IRTスコア |  |
|------------|-----|------------|----------|------|-----------|------|----------|--|
|            |     |            | 国語       | 数学   | 国語        | 数学   | 理科       |  |
| 3年         | 学校  | 88         | 58       | 56   | 4.8       | 6.8  | 553      |  |
|            | 大阪市 | —          | 52       | 46   | 6.8       | 11.2 | 489      |  |
| 4月17日      | 全国  | —          | 54.3     | 48.3 | 6.7       | 10.6 | 503      |  |

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

## 2 中学生チャレンジテスト

| 学年<br>実施月日 |     | 生徒数<br>(人) | 平均点(点) |      |      |      |      | 平均無解答率(%) |     |      |      |     |
|------------|-----|------------|--------|------|------|------|------|-----------|-----|------|------|-----|
|            |     |            | 国語     | 社会※  | 数学   | 理科※  | 英語   | 国語        | 社会※ | 数学   | 理科※  | 英語  |
| 3年         | 学校  | 95         | 72.9   | 60.0 | 64.3 | 58.2 | 65.5 | 4.0       | 3.6 | 7.7  | 4.8  | 3.4 |
|            | 大阪市 | —          | 64.8   | 51.5 | 54.3 | 46.5 | 54.4 | 6.1       | 5.8 | 11.1 | 9.4  | 6.5 |
|            | 大阪府 | —          | 64.2   | 51.2 | 53.9 | 46.0 | 53.2 | 6.8       | 6.5 | 12.1 | 11.0 | 7.4 |
| 2年         | 学校  | 117        | 63.4   | 49.0 | 61.8 | 47.9 | 57.3 | 8.5       | 5.1 | 11.3 | 5.2  | 7.2 |
|            | 大阪市 | —          | 65.2   | 45.0 | 56.0 | 47.9 | 52.4 | 6.6       | 5.6 | 10.3 | 4.2  | 6.9 |
|            | 大阪府 | —          | 64.5   | 44.3 | 55.0 | 46.7 | 51.8 | 7.3       | 6.3 | 11.7 | 5.0  | 7.6 |
| 1年         | 学校  | 106        | 60.8   | 60.5 | 56.2 | 65.7 | 70.4 | 8.7       | 2.9 | 7.9  | —    | 2.4 |
|            | 大阪市 | —          | 63.3   | 58.3 | 57.6 | 63.0 | 66.5 | 9.1       | 3.0 | 7.6  | 3.7  | 4.1 |
|            | 大阪府 | —          | 63.1   | —    | 56.7 | —    | 65.2 | 10.2      | —   | 8.8  | —    | 4.9 |

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

## 3 大阪市英語力調査 (GTEC)

| 学年<br>実施月日 |     | 生徒数<br>(人) | 読むこと     | 聞くこと    | 書くこと     | 話すこと     |
|------------|-----|------------|----------|---------|----------|----------|
|            |     |            | 【リーディング】 | 【リスニング】 | 【ライティング】 | 【スピーキング】 |
| 3年         | 学校  | 84         | 128.9    | 125.4   | 170.1    | 111.5    |
| 10月17日     | 大阪市 | —          | 117.4    | 110.2   | 146.4    | 98.4     |

## 4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

| 学年       | 生徒数<br>(人) | 握力<br>(kg) | 上体<br>起こし<br>(数) | 長座<br>体前屈<br>(cm) | 反復<br>横とび<br>(点) | 20m<br>シャトル<br>ラン<br>(回) | 持久走<br>男子1500m<br>女子1000m<br>(秒) | 50m走<br>(秒) | 立ち<br>幅とび<br>(cm) | ハンドボール<br>投げ<br>(m) | 体力<br>合計点<br>(点) |
|----------|------------|------------|------------------|-------------------|------------------|--------------------------|----------------------------------|-------------|-------------------|---------------------|------------------|
|          | 103        |            |                  |                   |                  |                          |                                  |             |                   |                     |                  |
| 2年<br>男子 | 学校         | 27.25      | 27.03            | 44.43             | 54.65            | 85.77                    |                                  | 8.23        | 192.82            | 17.93               | 41.90            |
|          | 大阪市        | 28.65      | 26.89            | 43.47             | 51.80            | 80.14                    |                                  | 8.06        | 195.02            | 20.28               | 41.69            |
|          | 全国         | 28.95      | 26.09            | 45.12             | 51.64            | 78.82                    |                                  | 8.00        | 197.51            | 20.74               | 42.20            |
| 2年<br>女子 | 学校         | 21.67      | 26.38            | 48.12             | 51.07            | 58.05                    |                                  | 8.53        | 166.71            | 13.53               | 52.37            |
|          | 大阪市        | 23.12      | 22.70            | 46.32             | 46.59            | 53.12                    |                                  | 9.03        | 166.76            | 12.20               | 48.14            |
|          | 全国         | 23.15      | 21.70            | 46.99             | 45.74            | 50.60                    |                                  | 8.97        | 166.44            | 12.43               | 47.58            |

調査結果から

○2年生チャレンジテスト

【成果と課題】

平均点については、大阪府(大阪市)と比較して、5教科の合計で17.1(12.9)ポイント上回る結果となった。

〈国語〉

平均点は、大阪府(大阪市)と比較して1.1(1.8)ポイント下回った。学習指導要領の内容別の知識及び技能の内容において大阪府と比較すると、

「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、0.7ポイント下回った。

「情報の扱い方に関する事項」において0.1ポイント下回った。

「我が国の言語文化に関する事項」において0.2ポイント上回った。

思考力、判断力、表現力等について大阪府と比較すると、

「話すこと・聞くこと」において、0.4ポイント下回った。

「書くこと」の内容において、0.2ポイント下回った。

「読むこと」の内容においては0.3ポイント上回った。

〈社会〉

平均点は、大阪府(大阪市)と比較して、4.7(4.0)ポイント上回った。学習指導要領における領域別で大阪府と比較すると、

「地理的分野」の領域において2.0ポイント上回った。

「歴史的分野」の領域において2.8ポイント上回った。

〈数学〉

平均点は、大阪府(大阪市)と比較して、6.8(5.8)ポイント上回った。学習指導要領の領域別で大阪府と比較すると、

「数と式」の領域において3.9ポイント上回った。

「図形」の領域において0.4ポイント上回った。

「関数」の領域において2.5ポイント上回った。

〈理科〉B問題

平均点は、大阪府と比較して1.2ポイント上回った。大阪市とは同じ数値となった。学習指導要領の領域別で大阪府と比較すると、

「エネルギー」の領域において1.2ポイント上回った。

「粒子」の領域において0.9ポイント上回った。

「生命」の領域においては大阪府と同じ数値であった。

〈英語〉

平均点は、大阪府(大阪市)と比較して5.5(4.9)ポイント上回った。学習指導要領の領域別で大阪府と比較すると、

「聞くこと」の領域において1.2ポイント上回った。

「読むこと」の領域において1.7ポイント上回った。

「書くこと」の領域において2.7ポイント上回った。

【今後に向けて】

国語のみ大阪府、大阪市ともに平均に僅かな差で届かなかったが、その他の教科は大阪府、大阪市ともに平均を上回り、学力の定着に一定の成果がみられた。今後も基礎学力の定着や発展的な問題への取り組みなど、個々の生徒の学力に応じた指導に取り組んでいく。

生徒アンケートの結果においては「文章や資料などを読むときにどこが大事なところかを考えながら読んでいる」、「普段(月曜日から金曜日)、1日平均どれぐらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか」などの項目に対して肯定的な回答をした生徒が大阪府の平均を上回った。しかしその一方で「普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれぐらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。」の項目において2時間以上と回答した生徒の割合が大阪府の平均を上回った。ICTの活用による探求学習などに取り組み、学習の意欲向上につなげて学力の定着を図っていく。

調査結果から

○1年生チャレンジテストおよびチャレンジテストplus

【成果と課題】

平均点については、チャレンジテストにおいて、大阪府(大阪市)と比較して3教科合計で2.4(±0.0)ポイント上回り、チャレンジテストplusにおいて、大阪市を2教科合計で4.9ポイント上回った。チャレンジテスト及びチャレンジテストplusを合わせた5教科の合計では、大阪市と比較して4.9ポイント上回る結果となった。

〈国語〉 チャレンジテスト

平均点は、大阪府(大阪市)と比較して2.3(2.5)ポイント下回った。学習指導要領の内容別で知識及び技能の内容において大阪府と比較すると

「言葉の使い方に関する事項」において大阪府の平均を0.2ポイント下回った。

「情報の扱い方に関する事項」において0.7ポイント下回った。

「我が国の言語文化に関する事項」において0.2ポイント下回った。

思考力、判断力等において大阪府と比較すると

「話すこと・聞くこと」において0.9ポイント下回った。

「書くこと」において0.7ポイント下回った。

「読むこと」において0.5ポイント下回った。

〈数学〉 チャレンジテスト

平均点は、大阪府(大阪市)を0.5(1.4)ポイント下回った。学習指導要領の領域別で大阪府と比較すると、

「数と式」の領域において0.5ポイント下回った。

「図形」の領域において0.8ポイント下回った。

「関数」の領域において0.6ポイント上回った。

〈英語〉 チャレンジテスト

平均点は、大阪府(大阪市)を5.2(3.9)ポイント上回った。学習指導要領の領域別で大阪府と比較すると、

「聞くこと」の領域において1.8ポイント上回った。

「読むこと」の領域において2.4ポイント上回った。

「書くこと」の領域において1.0ポイント上回った。

〈社会〉 チャレンジテストplus

平均正答率は、大阪市を2.2ポイント上回った。領域別正答率で大阪市と比較すると、

「地理的分野」の領域において2.7ポイント上回った。

「歴史的分野」の領域において1.6ポイント上回った。

〈理科〉 チャレンジテストplus

平均正答率は、大阪市と比較して2.7ポイント上回った。しかし領域別正答率で大阪市比較すると、

「粒子」の領域において0.7ポイント下回った。

「生命」の領域において0.4ポイント下回った。

【今後に向けて】

学方面においては、英語が大阪府、大阪市の平均を上回り、社会と理科は大阪市の平均を上回った。国語と数学も大阪府、大阪市の平均に届かなかったものの、大きな差はない。

生徒アンケートの結果において「文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。」

「家で自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強をしている」などの項目に対し、肯定的な回答をした生徒の割合が大阪府を上回っている。しかしその一方で「わからないことや知りたいことがあったとき、図書館の資料やインターネットなどで調べている」の項目に対し、肯定的な回答をした生徒の割合は大阪府の平均を下回った。

ICTの活用を強化し様々な取り組みを行い、自ら答えを導き出す探求心を育てていく。